

令和5年1月6日
国土交通省関東地方整備局
常総国道事務所

工事発注手続きについて

～跨道橋（プレストレスト・コンクリート橋）上部工事の発注手続きを行います～

常総国道事務所発注「R4 東関道築地地区跨道橋上部工事」において、「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」「材料単価の公表」を試行します。併せて「余裕期間制度（発注者指定）」を採用します。

工事発注において、予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について不調・不落対策を試行しております。今回発注する「R4 東関道築地地区跨道橋上部工事」については、以下の不調・不落対策を試行、採用します。

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
2. 余裕期間制度（発注者指定）
3. 材料単価の公表

※詳細は次ページをご覧ください。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 茨城県政記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 常総国道事務所

電話：029-826-2040（代表） FAX：029-826-2878

副所長 木村 佳夫（きむら よしお）（内線：204）

工務課 課長 西川 繁（にしかわ しげる）（内線：411）

<工事概要>

工事名：R4東関道築地地区跨道橋上部工事

工事場所：茨城県潮来市築地地先

工期：令和5年4月3日から令和6年3月29日まで

(余裕期間：契約の翌日から令和5年4月2日まで)

入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）

工事種別：プレストレスト・コンクリート

工事内容：（概要）

PC橋工	1式
橋梁附属物工	1式
剥落防止対策工	1式
コンクリート保護工	1式
コンクリート橋足場等設置工	1式

《公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）》

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。なお、総合評価は、災害活動実績及び賃上げの実施を加算点としています。

《余裕期間制度（発注者指定）》

受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者が指定した工事の始期までが余裕期間となります。

(余裕期間：契約の翌日から令和5年4月2日まで)

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《材料単価の公表》

事業執行における円滑な発注及び施工体制の確保に向け特別調査（臨時調査）により設定した「主たる建設資材」の材料単価について公表を行います。

《スケジュール》

- 入札公示、入札説明書の交付：令和5年1月6日（金）
- 技術資料等の提出期限：令和5年1月18日（水）
- 入札書、工事費内訳書の提出期限：令和5年2月13日（月）
- 開札日：令和5年2月16日（木）

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は
一般土木
C,B+C工事
維持修繕等

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ 指名競争・総合評価落札方式
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

公示
(工事内容・入札時期・落札方式等)



工事参加希望の意思確認・技術資料の提出
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)



参加要件は企業とし、
技術者要件は求めない

指名基準による選定



発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価
落札方式の手続き



指名競争・総合評価落札方式により落札決定

(標準点100点+加算点(11点)+施工体制
評価点(30点))÷入札価格=評価値
※加算点は災害活動実績+賃上げの実施
に関する評価

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

災害協定の締結や活動に
係るインセンティブの向上